



文教大学教育研究所
〒343-8511
埼玉県越谷市南荻島 3337
TEL 048-974-8811

教育研究所 ニュース

<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/kyouken/>

2018.10.17 第48号

- 巻頭言
- 世界の教科書展
-「世界の英語教科書」
- 海外の教科書所蔵一覧
- 桶川市〈世界の教科書 巡回展〉のお知らせ
- 2018 年度「定例研究会」「文教大学の授業」

「安全教育」を再認識した2018年の夏

文教大学教育研究所 研修部主任 手嶋 將博

この10年ほど、もはや「猛暑」とか「酷暑」という言葉も珍しくなくなった日本の夏であるが、今年もまた、「観測史上最高気温」が各地で更新され、気象予報では、「生命に危険を及ぼすほどの暑さ」という、穏やかでない表現が使われるようになった。実際、熱中症や脱水症状などによる、まさしく生命の危機につながるような事故が各地で頻発し、連日のように報道されていたことも記憶に新しい。こうした中、学校現場でも、「猛暑・酷暑」による授業中・学校行事中・部活動などの課外活動中における事件・事故の防止をはじめ、立て続けにやってきた台風や集中豪雨、地震などによる自然災害への備えや、学校内外での不審者対策、交通事故の防止、生活の中の様々な危険に対する理解や備え、さらには、携帯電話やPC、SNS等情報ネットワークの活用による犯罪被害の防止・適切な利用といったものも含めた「安全教育」は、近年ますますその重要性を増している。

2014年に文部科学省がまとめた『安全教育の目標・内容等』によると、学校における安全教育の目標は、「日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できるような資質や能力を養うこと」とあり、ア 日常生活における事件・事故災害や犯罪被害等の現状、原因及び防止方法について理解を深め、現在及び将来に直面する安全の課題に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意志決定や行動選択ができるようにする（知識・思考・判断）、イ 日常生活の中に潜む様々な危険を予測し、自他の安全に配慮して安全な行動をとるとともに、自ら危険な環境を改善することができるようとする（危険予測、主体的な行動）、ウ 自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できるようにする（社会貢献、支援者の基盤）の三つの目標と関連付けられた、幼・小（低・中・高学年）・中・高の各学校段階において達成すべき目標が挙げられている。

こうした状況をかんがみ、教採の2次試験の前に、「面接や集団討論などで、安全教育について聞かれるかもしれないからよく調べておくように」と4年生に伝えておいたら、いくつかの自治体で、実際に質問されたという報告があった。「安全教育」が待ったなしの課題であることの証左であろう。様々な危険と隣り合わせの現代社会において、「生活安全」「交通安全」「災害安全」の各領域に関する正しい理解と、危機に対する準備や危険の未然回避、そして自他の生命を守ができる主体的な判断力と行動力を、幼児・児童・生徒が発達段階に応じて身につけられるように、学校・家庭・地域が連携して推進される「安全教育」の重要性を再認識した2018年の夏であった。

2018年度「世界の教科書展」 特集 諸外国における外国語（英語）教育

2018年11月2日（金曜日）から4日（日曜日） 藍夢祭参加
8202教室

越谷キャンパスの学園祭（藍夢祭）で開催している「世界の教科書展」は、教育研究所の特色ある取り組みのひとつである。これまでの教科書展では、あるひとつの国の、主として初等教育に焦点を当ててきた。具体的には、初等教育の全教科の教科書を展示し、教育制度や教科書の内容を紹介してきた。来場者との意見交換の場として、教科書展は発展してきた。

今回で25周年を迎える教科書展では、英語教科書に焦点を絞る。11月2日から4日にかけて、8202教室で開催する。世界各国（韓国、台湾、タイ、マレーシア、ドイツ、フランス、スペイン、フィンランド）の英語教科書を展示し、日本の英語教育との比較をしていく。3日と4日には、公開講座として、小学生を対象とした英語の模擬授業も行われる。

次世代を担う子どもの教育を映し出す教科書を比較することで、我々が学ぶことは多い。英語教育だけでなく、英語教育とそれぞれの地域の母語教育との関係はどうなっているのか、また教育への大人の関心や教員養成課程についても比較の対象としたい。

会場では、各国の英語教科書を手にしていただきながら言語教育の「いま」を体感していただきたい。

（研究部主任 山川 智子）

～今までに開催した教科書展ポスター～



教育研究所所蔵の 海外の教科書

教育研究所では1991年の創設時より海外の小学校・中学校教科書を収集している。これまでに収集した小学校教科書の内訳は下表のとおりである。また、2017年度には公益財団法人モラロジー研究所から海外18か国7249冊の教科書を受贈し、教育研究所が所蔵している世界の教科書コレクションは31か国9249冊となった。

研究部ではこれらの教科書をもとに各国の教育制度や教育事情を研究し、その成果を「世界の教科書展」において毎年発表している。今年度は

「諸外国における外国語(英語)教育」を特集し、ヨーロッパ4か国、アジア4か国の教科書を展示する予定である。

海外の教科書を収集・保管する学術機関は少なく、またそれらの購入も容易ではないため、ここ数年ではマスコミをはじめとする各方面からの問い合わせや取材申し込みが増えており、貴重な資料として注目されている。海外の教科書については、貸し出しはおこなっていないが、研究所での閲覧は自由であるため、ご覧になりたい方は教育研究所(10号館2階)までご連絡のうえ、お気軽にお越し頂きたい。

(紀井 佳奈子)

諸外国の教科書所蔵数一覧
(教師用指導書、ワークブック含む)

2018/9/28
文教大学教育研究所

小学校 (2018/9/21現在)	国語	社会	算数	科学	生活科	総合科	音楽	美術	体育健康	実科	英語	日本語	宗教	情報	国際理解	その他	計
アメリカ		5	29														34
イギリス	20	12	8	12										10			62
インド	141		5			10			7				9	15			187
インドネシア	6	12	6	6				6	2		6		6			6	56
オーストラリア	60	7	23	18				6	10	6		3	3		1	7	144
オランダ	2	3	6	6							1					2	20
韓国	26	14	23	16	10		4	4	4	2	6		10			8	127
シンガポール			19	13					6		5						43
スイス	2		1														3
スペイン	6	4	6	6		3					6		7	2		1	41
スリランカ	7		5								6		6				24
タイ	12	6	7	6	1	1		2	6	6	6					6	59
中国	10	11	16	15			6	5			28		6			1	98
ドイツ	8		11		20	4	2	3			17		3				68
トルコ※2	22	19	18	16							18		19			22	134
バングラディッシュ	5		3								1					3	12
フィンランド	28	7	26	18							13						92
ブラジル	10	9	9	9				5			5		11			6	64
フランス		10	7								20						37
ポーランド	1		1	1													3
マレーシア	14	3	17	11	1				6		10		16			8	86
ラオス	10		10		10			5	5		6					5	51
ロシア	51	1	27	3	26	0	4	9	4	11	36	0	0	7		3	182
計	441	123	283	156	68	18	16	45	50	25	190	3	96	34	1	78	1627

※1 内訳にはワークブック、教師用指導書を含む。他に中学校517冊(14力国)、高校97冊(5力国)を所蔵。

※2 トルコの教科書については、教育制度の理由から、小中学校で使用されている教科書の数値とした。

桶川における
「世界の教科書」巡回展」

2018年12月8日(土)・9日(日)
「OKEGAWA hon+」
(桶川駅西口駅前桶川マイン3階)

教育研究所は「教育に関わる幅広い研究の推進とそれに基づく社会的貢献」を目的として、学内外の研究者の協力のもとに様々な研究に取り組んでいる。なかでも、藍蓼祭で開催される「世界の教科書展」は広く関心を集めることができ、2016年度からは、学外でも巡回展を行っている。

今年で3回目となる巡回展は、同じく桶川の「OKEGAWA hon+」(桶川駅西口・桶川マイン3階)にて、12月8日(土)～9日(日)に開催する。11月の藍蓼祭の展示と同様、諸外国の英語教科書を展示する。9日には公開講座の開催を予定している。講座の内容は、比較教育の視点から各国の英語教科書を考えるヒントを提供するためのレクチャー、および英語の模擬授業である。

現代は、大学と地域とが連携し、情報共有しつつ、ともに教育を考えていく時代である。その一環として、地域の方たちに教育研究所の活動を紹介する機会となればと願っている

(研究部主任 山川 智子)



昨年の公開講座

「教科書の国際比較から学べること
ラオスの教育を探ってみよう！」

公開「定例研究会」発表一覧

第96回 11月4日(日)

- 保育者養成におけるビブリオバトルを取り入れた授業実践に関する研究

綾 牧子

- 地域の教育力向上における実証的研究(2)
～「青少年育成推進協議会」の活動に着目して

栗原 保

- 道徳教育と学級経営社会教育主事の専門性に関する研究

—実践言語化から読み取る学習支援の専門的力量—
阪本 陽子

- 基礎教育と普通教育

矢作 由美子

第97回 3月2日(土)

- 大学と地域博物館における連携・資料活用に関する実践的研究

加藤 紫識

- 小中連携に関する研究(保健体育を中心に)

加藤 純一

…興味のある方は、どうぞご参加ください…

2018年度
『文教大学の授業』執筆者紹介

第64号 教育学部 手嶋 将博 先生(既刊)

第65号 国際学部 赤坂 雅裕 先生(既刊)

第66号 文学部 渡邊 大 先生(既刊)

第67号 教育学部 小林 秀明 先生

2018年度 教育研究所スタッフ

所長 平 正人

研究部主任 山川 智子 研修部主任 手嶋 将博

事務 河口 恭子